

わんにゃん救急新聞

2023年

夏号

今回の
LINEUP

自宅できる
バイタルチェック
と
応急処置

電話番号は
こちら↓

☎ わんにゃん
きゅー
011-281-1299

ホームページは
こちら↓

sapporo1299.net



バイタルサインとは生命の兆候であり、“生きている、ことを示す重要な指標となる。動物病院では診察開始時や入院管理中に体温測定や聴診による心拍数、呼吸数測定などのバイタルサインのチェックを行っている。バイタルサインに異常が出ている場合、体の中で何らかの異常が起こっているの、しっかりとした検査や治療が必要となる。

今回、自宅でも確認できる簡易的なバイタルサインのチェック方法をまとめました。また自宅でもできる簡易的な応急処置も併せてご紹介させていただきます。



自宅で確認できるバイタルサインチェック

意識の状態

清明：正常な意識

以下が異常な状態

傾眠：軽度の意識障害、呼びかけなどに反応して意識が戻る

昏迷：重度の意識障害、意識が喪失しているが、

痛みなどの強い刺激には反応

昏睡：完全に意識がない状態、痛み刺激にも反応がない

心拍数と体温は自宅で測定するのは難しい場合が多いが、基準値は覚えておくといいかもしれない。

心拍数基準値

犬 60～180回/分

猫 140～220回/分

* 小型犬では多く、大型犬では少ない傾向にある

* 動物の緊張状態や運動によって、影響を受ける

歯茎・舌の色

正常 ピンク色

異常 紫：低酸素、チアノーゼ

白：貧血、出血

赤：発熱、感染症

皮膚脱水

正常 背中を掴んで2秒以内に戻る

異常 2秒以内に戻らない場合は脱水を示している

安静時呼吸回数

犬：10～30回/分

猫：20～40回/分

安静時にこれを超える呼吸回数
の場合呼吸器疾患の可能性あり

末梢温度

肢の末端、鼻先など体の末梢の温度

正常 体の中心（胸やお腹）と大きく変わらない温度

異常 体の中心と比べると明らかに冷たい

便

正常 普段と同じ便、茶色でティッシュなどで容易につかむことができる硬さ

異常 色の变化（うすい茶色、黒色、白色）、水分量の変化（軟便、泥状便、水様便）、匂いの変化

尿

正常 透明度の高いうす黄色～黄色

異常 濁り、色の变化（すごくうすい、オレンジ～赤色）

体温基準値

犬 38.6～39.2℃

猫 37.9～39.2℃

* 動物の緊張状態や外気温などの影響を受ける



困ったときの自宅でできる応急処置

爪切りで深爪になってしま
って出血している！

自宅にある小麦粉・片栗粉を止血剤の代用として使用可能。

小麦粉・片栗粉を指でつまむくらいの量を取り、**深爪の断面に押し当てる**。そのまま5分～10分ほど圧迫止血をする。

→出血が止まらない／再出血してしまう場合は病院を受診しましょう。深爪ではなく、爪が折れて出血している場合には、爪を除去する必要があるかもしれないので病院を受診しましょう。

オス犬のペニスが出っぱ
なしで戻らない！

ペニスが腫れている場合、濃い砂糖水を作製し、ガーゼに浸して腫れたペニスに巻く（浸透圧の効果でペニスの腫れが引く）。5分～10分ほど巻き、腫れが改善していたら包皮を引っ張って戻す。

包皮の毛がペニスとの隙間に巻き込んで戻らない場合は巻き込んだ毛を解いてあげると戻すことができる。

→ペニスが赤黒くなっている／腫れが引かない／嫌がって触れない場合には病院を受診しましょう。